

『徒然草』「ある人、弓射る」(読解)

ある人、弓射ることを習ふに、①諸矢をたばさみて的に向かふ。師のいはく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。のちの矢を頼みて、A初めの矢になほざりの心あり。毎度ただ得失なく、Bこの一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠の心、②自ら知らずといへども、師これを知る。③この戒め、万事にわたるべし。

道を学する人、夕べには④朝あらんことを思ひ、朝には夕べあらんことを思ひて、重ねてねんごろに修せんことを期す。いはんや⑤一刹那のうちに於いて、懈怠の心あることを知らんや。なんぞ、ただ今の一念において、Cただちにすることのはなはだかたき。

問一 傍線部AとCを現代語訳しなさい。

問二 傍線部①の読みを答えなさい。

問三 傍線部②の意味として最も適当なものを選びなさい。

ア 自然には分らない イ 自分だけが知らない ウ 自分から知ろうとしない

エ 自分では意識しない オ 自然と意識される

問四 傍線部③とは何か。最も適当なものを選びなさい。

ア 自分では意識しない、いいかげんに思う心に気をつけること。

イ 師匠の前では緊張して、初めの矢を失敗することに気をつけること。

ウ 勝ち負けにこだわらず、自分では意識しない緊張に負けること。

エ 弓の手入れを忘れたことに気づかず、気が緩むことに気をつけること。

オ 二本の矢を失敗しても三本目があると油断しないように気をつけること。

問五 傍線部④の意味として最も適当なものを選びなさい。

ア 早朝 イ 午前中 ウ 正午 エ 午後 オ 翌朝

問六 傍線部⑤の意味として最も適当なものを選びなさい。

ア 虚空 イ 一瞬 ウ 事件 エ 核心 オ 想像

【解答欄】

問一

A	B	C

問二 ()
問三 () 問四 ()
問五 () 問六 ()

【解答】

問一

A	初めの矢に対していいかげんに思う気持ちが生じる。
B	この一本の矢で決めようと思え。
C	すぐさま実行することはひどく難しいのであろうか。

問二（ ）
問三（エ ） 問四（ア ）
問五（オ ） 問六（イ ）